

佐呂間町立佐呂間小学校



学校だより



令和7年1月31日 発行

相手を思う気持ち

校長 池田 潤

新年を迎え1か月が過ぎました。子どもたちが冬休みを終え、毎朝元気に登校してくる姿を見てうれしく思っています。玄関前で毎朝あいさつをしながら子どもたちを迎えていると、子どもたちのステキな姿を目にします。一つは、学校の中に入る前に必ずトントンと靴の雪を落として学校の中に入る姿です。雨の日に傘をさして時には、玄関に入る前に傘のしずくをしっかりと払って傘を閉じ、がさばらないように傘をしまって傘立てに立てています。みんなで使う場所をみんなが気持ちよく使えるようにするためのあたたかい気づかいだったり、思いやりの心が感じられます。

また、冬は玄関の戸を閉めているので、自分に続く人がいるときには、次に来る人のために戸を押さえてくれています。特に高学年の子たちによく見られます。これもまた相手を思いやるやさしい心です。これらの子どもたちの行動はどうやって身につけたのでしょうか。とりわけ教師から指導がなされているわけではありません。おそらく、佐呂間小の子たちは、代々、低学年の子が高学年の姿を見て、まねて、覚えて、行動しているようです。私はこれまで赴任してきた学校でこのようなステキな子供たちの姿を見たことがありません。当たり前行動と思われるかもしれませんが、このような行動が自然にできる子供たちを私は尊敬します。誇りに思います。

あいさつなど、人とかかわる術や規範意識、行動意識は、これまでの経験や学習によって学んだことをもとに、成否や善悪の価値判断として身につきます。ところが、今日、自分で判断できないことに対し「その人の自由」ということで、自分の責任を回避してしまうことが多くなっている社会です。同時に社会性の低下が取り上げられても、個人の好みの問題として片づけられ、人と違うことをすることが個性であり、よしとする風潮もあります。そこでは違うことのみを価値を見出し、人間の尊厳にかかわることさえ、個人の自由であるかのようにとらえられることが多いのも事実です。その結果、違いの位置づけが規範を超え、ルールやきまりさえ必要ないという無秩序な状況が生まれることも否定できません。それだけに、体験による規範意識の醸成が求められます。

子どもたちには、今の環境においてきまりを通して規範の存在を実感し、学んで、行動化できるようになってほしいと願っています。そのことが、自分の存在とともに、相手の存在を尊重できる責任ある姿勢を培う者と考えます。ルールによって学校生活や様々なスポーツがより楽しくできるように、お互いが豊かに生きるための共通の宝として、規範意識の定着を図りたいと考えております。そこには、自分も相手もあたたかく幸せな気持ちになれる思いやりの心があると考えています。

令和7年となり、今まで以上に誰もが豊かさを実感できる社会の実現が期待されます。その実現は、子どもを取り巻く私たち大人自信が最も身近な教育環境であるという意識で、育ってほしい姿をモデルとして示すことにほかなりません。大人が人生の良き先輩として、身をもって規範の存在を示し続けることが何よりの教育ではないでしょうか。

2月の行事予定

1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月	全校朝会	18	火	
4	火	PTA 三役会議	19	水	人権教室（2年生） 水曜6時間日課
5	水		20	木	スクールカウンセラー来校日
6	木	4時間授業（職員会議のため）	21	金	委員会活動
7	金	5時間授業（職員会議のため）	22	土	
8	土		23	日	祝日（天皇誕生日）
9	日		24	月	振替休日
10	月	参観日（2・5年生）	25	火	
11	火	祝日（建国記念の日）	26	水	5時間授業（評価事務のため）
12	水	5時間授業（職員会議のため）	27	木	5時間授業（評価事務のため）
13	木	参観日（1・4年生）	28	金	5時間授業（評価事務のため）
14	金	参観日（3・6年生）			
15	土				

ふるさと給食 1/29

1月のふるさと給食はトップファームさんの佐呂間牛を使った「牛丼」と部田菓子舗さんの「くさもち」でした。

佐呂間町の食材を使ったメニューで地域を知る・体験することができる環境に感謝いたします。子どもたちはいつも以上に食べていたようです。2年生の男の子は「大盛りを完食したよ！おいしかった！」と大満足していました。



=====



メタバースでダンス！

2年生の子どもたちが愛媛県四国中央市立川之江小学校とオンラインでつながり、メタバース上で一緒にダンスをしました。

今年度、スポーツ庁の令和の日本型体育構築事業の一環として東京学芸大学より実践研究校として指定していただいております。メタバースの中で誰もが自由に体育の授業に参加できるインクルーシブな環境づくりをつくり、遠く離れた川之江小学校とつながり、ゴーグルをつけ、アバターとなってメタバース上で子どもたちはダンスを楽しみました。

現在研究開発段階ですが、これから5年後、10年後より実用的なシステムとして学校体育に活用されることと思います。

